

平成26年度学校評価実施報告書

次のとおり学校評価を実施しましたので報告します。

学校目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価	学校評価
	具体的な手立て	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		
〈教育課程〉 (1) 国際理解教育を推進し、自国文化理解、異文化理解を深めさせる。 (2) 多様な学びの機会を提供して、生徒の学習意欲を高める。	(1) ① 姉妹校交流や海外からの訪問団の受け入れを積極的に推進し、国際交流の機会を充実させる。 ② 自国文化理解や異文化理解また国際交流につながる学校外で実施される催しへの生徒参加を押し進める。 ③ グローバルコミュニケーション(GC)コースの取組を充実させる。	(1) 自国文化理解や異文化理解を深めることができたか。(取組状況、参加状況、生徒アンケート)	<ul style="list-style-type: none"> <li>7月下旬よりオーストラリア語学研修を実施した。例年よりホームステイの日程等長くし、より深い交流を行うことができた。</li> <li>国際交流高校生のつどいに8名が参加し、留学生との交流を深めた。</li> <li>せせらぎ学校と称した地域連携講座をGC(国際ビジネス)コース生徒全員で行い、インタビュー形式によりコミュニケーション能力を身につけた。</li> <li>他者理解講座として、地域福祉施設、磯子区福祉課の方の協力の下GCコースの生徒が認知症サポート講座等に参加した。</li> <li>GCコースの生徒全員TOEIC Bridgeを受検した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>姉妹校との交流について、日常の教育活動の中での取り組みができないか検討していく。</li> <li>短期留学生の受け入れを積極的に進めていく。そのための受け入れ態勢を整える。</li> <li>地域の教育力を活用したせせらぎ学校をさらに充実させ、継続的に実施できるようにしていく。</li> <li>今年度の他者理解講座では福祉分野での実施を行ったが、三年間を見通した計画を作る必要がある。</li> <li>TOEIC Bridgeテストは生徒に馴染みがなく、モチベーションが上がりにくいため実施の方法について検討していく。</li> </ul>	(保護者) <ul style="list-style-type: none"> <li>今年は海外からの生徒たちの来校がなかったので、もっと交流の場面がほしい。</li> <li>語学研修は期間も長くなり、非常に楽しく有意義だったと報告を聞いている。作文の掲示も良かった。</li> <li>朝の読書の成果を何らかの形でみられないか。</li> <li>検定については保護者まで募集情報が届かないので工夫してほしい。</li> </ul> (学校評議員) <ul style="list-style-type: none"> <li>地域の方や多方面で活躍する方と話をする場面が多く、子供の成長過程においてとても有意義なことだと感じる。</li> </ul> (その他) 特になし	(学校評価) <ul style="list-style-type: none"> <li>語学研修については、ホームステイの期間も延ばし、充実したものとなったことが生徒の参加報告などからうかがえる。</li> <li>自国文化理解についての修学旅行や遠足などに加え、他者理解のための福祉講座など多岐にわたる特別授業を実施することができた。</li> </ul> (改善方策等) <ul style="list-style-type: none"> <li>国際交流については、留学生の受け入れなど積極的に推進し、交流の機会拡大をすすめる。</li> <li>オーストラリアへんずホ-高校生生徒受け入れ中の取組を家庭や地域の協力を得て充実させていく。</li> <li>GCコースの特別授業がより系統的、組織的になされるよう工夫を図る。</li> </ul>
	(2) ① 各種検定や資格取得またコンテストへの応募等の支援を行う。 ② 朝の読書の実施により、学習に対する姿勢の向上と言語活動の充実を図る。	(2) 様々な学習機会を活用しているか。(検定等の受検者数および合格率、朝の読書の取組状況)	<ul style="list-style-type: none"> <li>漢検2級、準2級、3級39名受験のうち16名合格、また英検2級、準2級、3級12名のうち5名合格、ビジネス文書実務検定2級、3級を20名受験のうち11名合格であった。</li> <li>朝の読書を朝のHR前に実施した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種検定や資格取得に向けてより多くのまとまった数の生徒が受験し、資格取得できる雰囲気づくりを国語科、外国語科、情報科職員を中心に学校全体で地道に支援していく必要がある。</li> <li>朝の読書は落ち着いて取り組む姿勢が定着している。今後に生かす方法を考える。</li> </ul>		

<p>〈生徒指導・支援〉</p> <p>(1) 特別活動や部活動のさらなる活性化を推進し、生徒の自主性と主体性を育む。</p> <p>(2) 生徒や保護者とのコミュニケーションを密にし、生徒の基本的な生活習慣の確立と規範意識の醸成を図る。</p>	<p>(1)</p> <p>① 体育祭や文化祭などの学校行事また生徒会活動やホームルーム活動において、生徒が主体的に参加し運営する場面を創出する。</p> <p>② 部活動への積極的な参加を促し、その活動において生徒の自主性を育み責任感や連帯感を養う。</p>	<p>(1) 生徒の自主性と主体性が育まれているか。 (各取組における活動状況、職員・生徒アンケート、部活動加入状況)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 体育祭では雨天続きで当日は部活の生徒が朝早くからグラウンド整備するなど運営面でも生徒が活躍する場面が見られた。文化祭でも調理などで熱心に活躍する姿が目立った。</li> <li>・ 部活動は熱心に活動する部が増えた。大会で表彰を受ける件数も増加した。</li> <li>・ 部活動で積極的に地域交流やボランティアを行う部活が増えた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 行事では部活の生徒や委員会の一部の生徒ではあるが、運営に関わる姿勢を見せている。教員の支えがないと動けないが少しずつでも運営に関われるよう指導していききたい。</li> <li>・ 専門の指導者がいる部活ではしっかりした活動及び実績をあげているが、そうでない部活は生徒中心で部活運営をできるまでには至っていない。部活動体験で一年生に紹介する方法をとっているが、途中でやめてしまう生徒もいる。継続して活動できるよう指導していききたい。</li> </ul>	<p>(保護者)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 文化祭、体育祭など年々盛り上がってきており、生徒が主体となっている場面が多くみられた。</li> <li>・ PTAとして球技大会や体育祭で飲料のサポート協力を行っているが、礼儀正しく挨拶してくれる生徒が増えた。</li> <li>・ 出席状況のお知らせがこまめに届くことは、大変な労力だとは思いうが助かる。</li> </ul>	<p>(学校評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 文化祭・体育祭・球技大会などの運営面における生徒の主体的な活動が多く見られるようになった。</li> <li>・ 部活動において、部としての一体感が向上し、磯子高校の生徒としての誇り、生き生きとした充実した高校生活の様子が見られた。</li> <li>・ 生徒の様子について家庭との連絡がこまめに取られており、生徒の指導・支援がスムーズに行われた。</li> <li>・ 身だしなみについては、頭髪指導の徹底などの工夫がなされたが、さらに指導を進めて行く必要がある。</li> <li>・ ネット社会における危険性についての教育をさらに充実させ、生徒が事故や犯罪に巻き込まれないよう配慮して行く。</li> </ul>
	<p>(2)</p> <p>① 出席状況や学習への取組状況また学校生活の様子について、保護者への連絡を適宜行う。</p> <p>② 身だしなみや言葉遣いについて丁寧な指導を行い、またルールを守りマナーを大切にする精神を育む。</p>	<p>(2) 家庭への連絡が確実に行われているか、基本的な生活習慣や規範意識が育まれているか。 (生徒指導集計、教育相談実施状況)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 近隣住民からの苦情の数は昨年と比べて半減しており、バス停やバス車内でのマナーも改善されつつある。登下校時にゴミ拾いをする生徒もおり、全体的に生徒の道徳心が育ってきている。言葉づかいも良くなってきており、真面目に学校生活を送る生徒が増えてきた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 遅刻を減らすための取り組みをもう少し検討し、朝の読書が全校生徒で行われるような雰囲気を作っていきたい。</li> <li>・ 頭髪指導の強化により頭髪の乱れは無くなってきているが、ブレザーの着用や、式典時のネクタイリボンの着用が徹底されていない。身だしなみを整える意識の涵養に努めたい。</li> </ul>	<p>(学校評議員)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 体育祭の運営なども生徒がさらに自主的な活動ができるよう支援してほしい。</li> <li>・ 近隣高齢者にとって、バス乗車は生活の一部であるので、乗車マナーについてさらに指導してほしい。</li> <li>・ ごみを拾いながら登校する生徒を見かけた。服装や頭髪だけでなく行動面でも良くなってきている。</li> <li>・ 規範意識を育むためには、教室や身の回りを清潔にするなど日常の行動のあり方を考えさせないといけない。</li> <li>・ いじめや不登校の現状について、アンテナを高くし情報を集めているということなので、細やかな指導を継続してほしい。</li> </ul>	<p>(改善方策等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校行事では、生徒の達成感と有用感を高めるために、保護者や地域の参加協力体制をさらにすすめる必要がある。</li> <li>・ ネット犯罪に巻き込まれないための工夫と、情報収集を行って行く。</li> </ul>
	<p>③ 教育相談コーディネーターが中心となり、スクールカウンセラーや外部相談機関と連携するなど教育相談体制を充実させる。</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ スクールカウンセラーと養護教諭、担任との連携は充実しており、更に学年内での情報交換も促進されている。女子の相談件数が多い。児童相談所等からの情報も活用するようになってきた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学年内での情報共有が充実している分、他学年との情報交換が手薄な状況である。今後は幅広く情報を共有し、多角的な視点、意見を教育相談に反映できるような体制を作り上げていきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 服装や頭髪だけでなく行動面でも良くなってきている。</li> <li>・ 規範意識を育むためには、教室や身の回りを清潔にするなど日常の行動のあり方を考えさせないといけない。</li> <li>・ いじめや不登校の現状について、アンテナを高くし情報を集めているということなので、細やかな指導を継続してほしい。</li> </ul> <p>(その他) 特になし</p>	

<p>〈学習指導・授業改善〉</p> <p>(1) 生徒の学習意欲を向上させ、各教科における基礎学力を高める。</p> <p>(2) 生徒が主体的に参加する授業展開により、向上心やコミュニケーション能力を養う。</p>	<p>(1)</p> <p>① 授業公開や研究授業を積極的にを行い、教科指導方法の工夫と改善を図る。</p> <p>② 生徒による授業評価を分析して授業改善に資する。</p> <p>③ 放課後や長期休業期間など授業時間以外での学習指導を充実させる。</p> <p>(2)</p> <p>① 生徒が主体的に参加できるような授業改善を行う。</p> <p>② 各教科においてペアワークやグループワークなどの場面を積極的に創出する。</p>	<p>(1) 授業改善への取組により、生徒の学習意欲を向上させ基礎学力を高めることができているか。(生徒による授業評価、夏季講習等参加状況)</p> <p>(2) ①から②の取組により、生徒が向上心を持ち主体的に学習に取り組む姿勢ができてきているか。(授業改善状況)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>近隣中学校の授業見学を全職員実施した。</li> <li>生徒による授業評価、夏季進学講習等を実施した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習内容が理解できていない生徒に、どのようにアプローチしているか等観点を絞って見学・観察したが、本校にどう活かすか授業時の工夫が必要である。</li> <li>夏季進学講習に取り組む生徒の絶対数を増加させることが課題である。</li> </ul>	<p>(保護者)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>職員室前の学習スペース新設など、生徒の学習サポートが年々充実してきている。</li> </ul> <p>(学校評議員)</p> <p>特になし</p> <p>(その他)</p> <p>特になし</p>	<p>(学校評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>中学校での授業見学は、本年度初めての取組みであったが、教職員の実施後の実態等から良い取組みであったことが伺える。</li> <li>ペアワークやグループワークなどいわゆるアクティブラーニングを積極的に推進してきた。</li> </ul> <p>(改善方策等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>アクティブラーニングをさらに充実させるために、その効果的な導入について工夫が必要である。</li> </ul>
<p>〈キャリア教育〉</p> <p>(1) キャリア教育を充実させ、生徒の進路意識を育む。</p> <p>(2) 生徒一人ひとりに応じたきめ細やかな進路指導を行う。</p>	<p>(1)</p> <p>① 生徒の職業意識やキャリア意識を養うためにインターンシップやキャリアガイダンスの情報を積極的に発信する。</p> <p>② 進路選択に資する診断テストを定期的実施し、生徒の意欲や意識を高めしていく。</p>	<p>(1) キャリア支援の取組により、生徒の進路意識が育まれているか。(インターンシップ参加状況、進路状況)</p> <p>(2) 適切な進路指導が行われたか。(進路指導の状況、進路指導室の活用状況)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「仕事の学び場」19人、「インターンシップ」4人の参加があった。また、卒業生の経験講話に20名を越える生徒が参加した。</li> <li>生徒の発達段階と学年ごとの指導目標に応じて、キャリア設計についての学習を充実させることができた。</li> <li>「総合的な学習の時間」を活用し、外部講師や大学生などの招聘を得て、様々な分野や目的のキャリアガイダンスを年間通じて計画的に企画、実施することができた。</li> <li>進路閲覧室を利用し、主体的に情報収集に取り組もうとする生徒が増えてきた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「仕事の学び場」「インターンシップ」は参加に関わる条件も多いため、なかなか希望通りに参加することができない。そのため、説明会に集まる生徒よりも参加者は少なくなってしまう。情報をこまめに伝え、より多くの生徒が参加できるよう、継続的に取り組みたい。</li> <li>オープンキャンパスや見学会などへの参加を一層促し、進路選択の意識を啓発していく必要がある。また、卒業生の経験談を聞かせる場などを充実させていく必要がある。</li> <li>複数の学校を比較し、最適な選択をできるよう、批判的な視点を持てるよう指導していく必要がある。</li> <li>進路閲覧室を昼休み、放課後</li> </ul>	<p>(保護者)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>インターンシップやその他参加募集についての情報が保護者には伝わってこない。HPに載せるなど工夫できないか。</li> <li>卒業生との座談会など生の情報を得られる機会がほしい。</li> <li>大学に進学後に必要な学力をきちんとつけて卒業させてほしい。</li> </ul> <p>(学校評議員)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生徒も落ち着き、進路活動も充実してきている様子がうかがえる。</li> </ul>	<p>(学校評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の進路希望の実態を把握し、特に四年制大学合格者数や第一希望への進路決定者が年々増加している。</li> <li>早い時期よりキャリアガイダンスを実施しているため、興味を持って活動できる生徒が増えてきている。保護者の協力を得るためにも進路情報を的確に発信していく必要がある。</li> </ul> <p>(改善方策等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ホームページの活用など保護者への情報提供の工夫を図る。</li> <li>卒業生や外部の方の人材を活用していく。</li> <li>進路閲覧室の活用をさらに</li> </ul>

	<p>(2)</p> <p>①希望の進路実現のため、面談やガイダンスの充実を図り、個に応じたきめ細やかな進路指導を行っていく。</p> <p>②生徒への適確な情報を提供できる環境を整え、進路閲覧室の利用を活性化していく。</p>			<p>等より利用しやすく整備していく必要がある。</p>	<p>(その他) 特になし</p>	<p>活性化させるための工夫が必要である。</p>
<p>(地域連携)</p> <p>(1)家庭や地域との連携を通して、生徒の社会性を育む。</p> <p>(2)学校の取組についての確な情報を発信することにより、開かれた学校づくりを推進させる。</p>	<p>(1)</p> <p>①生徒の社会性を育むために、地域清掃などの奉仕活動においてPTAや地域の自治会等との協働の場を創出する。</p> <p>②生徒の自己有用感を培うためのボランティア活動を多くの生徒が経験できるよう情報提供の方法に工夫を図る。</p> <p>③近隣の小中学校との交流を充実させる。</p>	<p>(1)①～③の取組により、自分が社会の一員であることの意識が育まれているか。(ボランティア活動参加状況、交流行事参加状況)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・LHRを利用し、各クラス1回ずつ地域清掃を実施した。また、部活動有志(50名)や美化委員(34名)による行事前の清掃も実施した。</li> <li>・ハンズデーに保護者および地域の方(26名)と生徒(5名)によるトイレの壁のペンキ塗りを実施した。</li> <li>・職員室前にボランティア掲示板を設置し、外部の募集情報を周知させた。</li> <li>・近隣小学校の運動会ボランティアに10名の生徒が参加した。また、小学校1年生との遊びを通じた交流(なかよし会)に22名の生徒が参加した。</li> <li>・さわの里小学校見学会および保護者との座談会に12名の生徒が参加した。</li> <li>・ケアプラザで吹奏楽部、空手道部が交流した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本年度はクラスごとLHRで地域清掃を実施することに変更したが、学校行事の関係で、地域清掃に利用できるLHRの時間が偏っていたため、日程が集中してしまった。実施形態について検討する必要がある。</li> <li>・ボランティア募集については、廊下掲示板・教室掲示などで積極的に広報活動ができた。</li> <li>・生徒の興味あるボランティアについて意識調査をおこない、ニーズにあったボランティア情報の提供を行い、参加者を増やす必要がある。</li> <li>・夏休みわくわく子供体験をさらに充実させ、開かれた学校を目指す。</li> </ul>	<p>(保護者)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多くの保護者が積極的に学校行事をサポートしていく雰囲気がほしい。</li> <li>・ボランティアなど積極的に生徒が活動している姿が見られる。</li> <li>・花植えなどの作業をPTAと一緒に活動する場面を増やしてほしい。</li> </ul> <p>(学校評議員)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公開講座やせせらぎ学校など地域連携の企画が多いので、学校サポーター登録など検討してはどうだろうか。</li> <li>・小学生向けの夏休み公開講座などは、7月実施のほうが参加者が増える。広報ももっと効果的に行うとよい。</li> </ul>	<p>(学校評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育力向上推進事業 Ver. II、地域等連携教育研究という視点から行ったさまざまな取組みは、生徒の取組み状況や感想から、良い成果が得られたと感じる。</li> <li>・地域との連携については、お互いの行事に参加し合うなど、工夫することができた。今後も継続することで本校の様子を理解していただき、協力していただける学校を目指したい。</li> <li>・学校説明会などの中学生への広報活動では、本校生徒の意欲的な参加が定着してきたため、充実したものとなった。</li> </ul> <p>(改善方策等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育力向上推進事業の取組みを各グループや教科で積極的に実践していく。</li> <li>・中学生への広報活動については、必要とされる情報を精査し、さらにきめの細かい情報提供を進めていく必要がある。</li> </ul>
	<p>(2)</p> <p>①学校説明会や中学校訪問などの広報活動を充実させる。</p> <p>②学校ホームページや掲示板などを活用して情報発信の充実を図る。</p>	<p>(2)広報活動が充実したものであったか。(広報活動実施状況、中学生アンケート)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校内での学校説明会を3回実施した。・夏休みに部活動体験、授業体験を実施し、200名ほどの中学生の参加があった。</li> <li>・夏休みに近隣中学校35校を訪問し、本校の特色について説明を行った。その他50校には学校紹介資料の送付を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者アンケートではおおむね好評であった。特に生徒による学校の紹介や部活動紹介などの評判が良かった。</li> </ul>	<p>(その他) 特になし</p>	

<p>〈学校運営・学校管理〉  (1) 事故・不祥事防止を目的とした研修会を実施し、県民の負託に応える学校運営に努める。  (2) 生徒の防災意識を育み、校内の安全対策を強化する。</p>	<p>(1)  ① 事故・不祥事防止研修会を定期的実施する。  ② 自己を省みるためにセルフチェックを定期的実施する。</p> <p>(2)  ① 防災意識を高めるための避難訓練の工夫を図る。  ② 家庭や地域との連携を図った防災活動について検討する。</p>	<p>(1) ①～②の取組により、県民から信頼される学校運営が行われているか。(研修会の実施状況、職員アンケート)</p> <p>(2) 避難訓練や防災訓練の実施によって生徒の防災意識を育むことができたか。(実施状況および職員アンケート)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 夏季休業中に外部講師を招聘して人権研修会を2回実施し、外国籍県民についての情報の収集、対応する場合に心がけなくてはならない内容等の研修を実施した。</li> <li>・ 夏季休業中に人権研修2回とAEDを使った救急法研修会を複数回実施し、全職員が研修を受けた。</li> <li>・ 6月3日に大地震発生を想定した避難訓練を実施した。併せて交通機関が止まった場合の徒歩による帰宅経路の確認訓練を実施した。</li> <li>・ 9月1日に「かながわシェイクアウト」に参加し、地震の際の初期対応について全校生徒で実践した。</li> <li>・ 12月17日には消火訓練を盛り込んで生徒に消火器の使用法について周知させた。</li> <li>・ 12月に上中里自治会の地域防災訓練に職員が参加した。</li> <li>・ 1月にダウンスロープを使用した、避難法の研修を職員で実施した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本校の現状を踏まえた充実した研修を行うことができた。今後も研修を継続していくことで、理解を深めていきたい。</li> <li>・ 全職員がAEDの研修に参加することができたが、技能の定着のためには、今後も継続して研修を行って行く必要がある。</li> <li>・ 6月の避難訓練は帰宅経路の確認訓練だけでなく、生徒・職員が地域の情報を知る機会にもなり効果が期待できる。</li> <li>・ 参加体験型の防災訓練を必要に応じて増やして、意識を高めていくことが必要である。</li> </ul>	<p>(保護者)  特になし</p> <p>(学校評議員)  ・ AED研修会では地域と連携し、サポートをすることができた。今後も防災体制など協力体制を作って行きたい。  ・ 防災訓練については、もっと目標を絞ったテーマで実施したほうが効果的ではないか。今後、地域、小中学校との連携も踏まえた取組みを考えて行きたい。  ・ 小中学校はすでに災害時の連携計画は進んでいる。  ・ 防災用品や応急手当準備をさらに充実させて行くとよい。お互いが助け合える雰囲気と関係を築いて行けるよう検討してほしい。</p> <p>(その他)  特になし</p>	<p>(学校評価)  ・ 事故・不祥事防止研修については、充実した研修を実施することができた。  ・ 災害時における備蓄食糧の充実を進めた。また、災害時用の発電機や投光器などを整備した。</p> <p>(改善方策等)  ・ 継続的に研修を行って行くために、内容が興味深いものとなるよう検討して行く。  ・ 災害発生時のための整備を継続的に進めて行く。</p>
--	--	---	---	---	--	---